

・大阪府立たまがわ高等支援学校 平成 28 年度 第 2 回 学校協議会の概要

1. 日 時 平成 28 年 12 月 19 日（月） 午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分

2. 場 所 大阪府立たまがわ高等支援学校 会議室

3. 出 席 協議会委員 5 名 事務局員 10 名

4. 内 容

[I] 校長挨拶

[II] 報 告

(1) 学校経営計画進捗状況について

(2) 進路指導状況について

(3) 生徒指導（支援）について

(4) 部活動について

(5) その他

[III] 協 議

[IV] 閉会挨拶

[V] 諸連絡

議事録（抄録）

< 議事録中 ●…委員 ○…事務局員 です。 >

[I] 校長挨拶

校長： 本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。学校協議会は外部の方から意見を頂戴する貴重な機会と捉えておりますので、様々な視点から本校の学校経営に対する忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

教頭： 本日、司会を勤めさせていただきます。よろしく願いいたします。

まず、事務局より報告をいたします。

[II] 報 告

(1) 平成 28 年度学校経営計画進捗状況について

校長： 今年度の本校の学校経営計画の進捗状況について説明いたします。これは校長が立てた目標に基づいて具体的な取り組みを進め自己評価をし、学校協議会の中で客観的な評価をいただくものです。全部を細かく説明することはできませんが、要点を説明いたします。

一つめは「教育活動の外部への発信と関係機関との連携」、たまがわランドの本格的な運営についてです。地域とのコミュニティを広げるため、職業に関する 3 学科 6 分野に清掃・販売を加えた 8 分野の取り組みを広く知ってもらい、日ごろの職業

学習の成果を発揮する場となっています。7月に行われた第1回のたまがわランドではケーブルテレビの取材が入り、東大阪市の広報番組「虹色ネットワーク」でその時の様子が紹介されました。2分ほどでまとめられているので映像をご覧ください。 <映像>

この他にも福祉分野では近隣の高齢者施設へ出向き、「ハンドケアマッサージ」を高齢者の方に行っています。本校の生徒にとっても直接高齢者の方と接する貴重な機会となっています。また年が明けた1月25、26日にはバックヤードサービス分野を中心に第2回のたまがわランドを行います。一汁三菜のランチは500円で、いなりずしとうどんのセットは400円での提供を予定しております。25日は本校で府内の支援学校PTA会長交流会、26日は事業所向けの学校見学会が予定されており、広報の良い機会となるので楽しみでもあります。

二つめは「より適切で効果的な進路指導体制の充実」の欄にある、部活動・生徒会活動の充実についてです。本校の部活動加入率は80%を超えております。本校の教育目標は「就労を通じた『潤いのある』社会的自立をめざす」ことであり、就労して働き続けるためには余暇の充実は欠かせないと思います。

三つめは「進取の機運にとんだ校内体制の確立」の中の若手・中堅教員の責任職への登用についてです。プロジェクトとしてイノベーション委員会が「今後5～10年を見据えて社会のニーズに応えられる本校の修学旅行のあり方」について検討をしています。教職経験年数が10年目の教員と、本校で修学旅行主担をした若手教員が中心となっています。また、統合ICTの更なる活用による業務の効率化を図り、空いた時間を有効的に使えるようにと考えています。

(2) 進路指導状況について

- ： 1年生は11月に初めての職場実習を1週間行いました。遅刻、欠席が若干あったものの参加状況としては良かったと思います。2年生は9月にキャリア教育として外部講師による出前授業を行いました。シャープ特選工業株式会社の方に依頼をしていますが、内容も学年ごとにステップアップしています。11月に2週間の実習を行いました。プレッシャーがかかってくるので、いろいろ課題が出てきましたが、次の3年次に向けて何が課題かを考えるチャンスになっていると思います。3年生は現在の進路状況についてです。本日現在、内定・内々定が53名（共生推進教室生込み）で時期的には例年並みになっています。未定の生徒もいるので実習先探しも含めて継続指導中です。
- ： 実習を引き受ける中で感じることは、一人ひとりの意欲に差があるように感じる。中には「本当に働きたい？」と感じる時もある。本人・保護者の意向をどのように吸い上げて進路指導をしているのか？
- ： 1年生の時は正直「(実習に)行かされている」からスタートをしていると思いま

す。2年生になり6月、11月の実習を経て、その後の懇談を通じて本人・保護者と適性を見極めマッチングをすることになるので、3年生の6月実習では本人の希望にほぼあっていると思います。しかし、「就労」そのものに対する意欲がまだまだ足りない生徒がいることも事実です。

- ：療育手帳を持っている一般高校からの生徒を受け入れたことがあるが、本人の意欲が感じられない。18歳の生徒がどこまで自分のことを真剣に考えられるのかと思う。進学の話はないのでしょうか？
- ：（進学の話）たまにあります。
- ：たまがわは1・2年生は自分探したと思う。自分の苦手なところ、得意なところを知る機会。3年生になると周りの流れに乗り「就職」について考えるようになる。

（3）生徒指導（支援）について

- ：いじめ対策については、平成26年度からいじめ対策委員会を立ち上げ、年2回記名式のアンケートを行っています。例年アンケートから挙がってくる事象はなく、普段の学校生活の中で担任との関係の中でわかることがあります。研修会についてはPTAと共催で「LINEについて」外部講師をお招きして行いました。生徒会選挙は選挙権の18歳引き下げに伴い、東大阪市の選挙管理委員会にも協力をさせていただき行っています。また社会科の授業でも学習をしています。教職員の防犯訓練研修は河内警察と連携をしての研修を行いました。たまがわフェスティバル文化の部では800名の来校者があり、昨年度より50名ほど増加しております。その他にも生徒指導事象として、コミュニケーションの課題からくるトラブルが多く起こっています。安心安全な学校生活を送れるように、より一層支援に力を入れていきたいと思えます。

（4）部活動の実績報告について

- ：部活動については8つの部があり活動をしています。兼部も2部までOKということで、生徒の8割が入部をしており、加入率も増加しています。運動部系の部活動では、チャレンジスポーツ部が一番大所帯の部です。陸上、サッカー、バスケットボール、ソフトボールの4つのパートに分かれて活動をしています。全国大会にも出場する生徒が出ています。ラケットスポーツ部はバドミントンと卓球に取り組んでいます。おもな大会はスポーツフェスタ大阪への出場です。ダンス部は年々部員も増えています。今年は大坂府障がい者芸術・文化フェスティバル1位、大坂府芸術・文化コンテスト3位に入賞と活動の場も広がっています。剣道部は高体連の大会への参加や昇段検査を受ける生徒もいます。アドベンチャー部は土日のハイキングを目標に、日々の筋力トレーニングに取り組んでいて、お楽しみ企画としてバーベキューもしています。次は文化部です。家庭科部は活動日は少ないものの、小物

作りや調理を中心に活動しています。音楽部も根強い人気のある部で、高校生フェスティバルなどの校外イベントへの参加や、たまがわフェスティバル文化の部では、舞台発表の締めを盛り上げてくれています。美術部は文化部の中で非常に人気のあるクラブです。校内展示をはじめ、生徒たちは個々に好きな絵を描いているようです。部活動はたまがわの魅力の一つだと考えています。

(5) その他 について

校長： 本校の歯磨き運動をはじめとする口腔ケア指導の取り組みが「日本歯科医師賞」・「府知事賞」とを受賞しましたので紹介をさせていただきます。

[Ⅲ] 協議

＜質疑・応答及び協議、内容によっては事務局担当者が説明する。＞

教頭： 報告が終了しましたので、これより協議に移ります。司会進行は会長の●委員にお願い致します。

●： では、どなたからでもご意見ご質問等お願いします。

歯磨き運動の取り組みは良い。口腔ケアは大事で、生活自立の第一歩だと思います。

イノベーション委員会で検討をされている「修学旅行について」も面白いと思います。

●： 部活動は人とのかかわりを広げる。人とのつながりは社会生活を送る上で大切で、クラブに入っていないと一人で過ごす時間も多くなり、人間関係がうまくいかないように感じる。加入率 80%は素晴らしい。何か工夫はされているのか？

○： 入学時に活動紹介をし、体験入部期間を設けています。

校長： 本校の部活動は中学生にとっても魅力の一つで、学校見学会などで部活動見学を行うなど、有益性を訴えています。

●： 就労率だけでなく、多様な学校教育の取り組みをもっと宣伝してほしい。

校長： ダンス部は来年、近畿総合文化祭の開会式に出場することになっています。

●： 発表する機会は活動のモチベーションにつながりますね。上下関係など、先輩後輩のつながりはどうですか？

○： 世代交代（キャプテン、パートリーダー、部長等の交代）を通じて意識させています。

●： 社会生活の定着にも有効ですね。

たまがわランドの周知はどうなっていますか？

校長： 地域の協力を得ています。来年度から年 4 回くらい実施できたらよいと考えていますが、学校全体としての取り組みとしては弱いので、継続的・計画的にできるようにしたいと考えています。

●： 地域の中では「子どもたちと直接触れ合いができるので、一度来るとまた来た

くなる」と話題になる。たまがわフェスティバルを通じて生徒に親しみを感じる。ラグビーの町に見合う商品を作っても面白いのでは？

校長： またアドバイスをください。地域とも密接なイベントを展開をしていきたいと考えています。

●： 学校経営計画の中で苦戦をしている取り組みは？

校長： 学校 HP を見る保護者の率がなかなか上がらない。タイムリーに発信することが課題で継続をしていくことが大切。

●： 本社でも情報を PC で常時伝えるようにしている。教育訓練も PC で行っている。必要なものは朝・終礼でモニターも利用している。

校長： 教員が PC を見る時間が少ないのは事実、まだ工夫が必要です。

●： 進路について、3年生の進路先の業種の特徴は？

○： まだまとまっていませんが、事務の補助職や倉庫内でのピッキング作業も増えています。厨房内での補助も増えています。

●： 東京本社の特例子会社が関西に事業所を立ち上げ始めている。今後も高等支援学校の就職先としてよいのでは。ぜひ生徒の事務補助のできる力を伸ばしてほしい。

●： 就労した場合勤務時間は？

○： 6～7時間と言うケースが多い。

●： 本社は6時間正社員（知的障がい）と8時間正社員がいる。なかには8時間勤務のできる子もいると思うので、制度を改善する必要があると考えている。

●： 8時間勤務だと評価は高いが、本人が疲労してしまうのでは？

●： うちの兄弟2人とも8時間勤務。上の子は自転車ですぐの勤務先だが、下の子は電車通勤をするので疲労がより溜まってしまっているのでは？と懸念している。休憩時間の使い方も大事。何をしてもよいのかわからず、ぼつとしてしまう。

●： 求人状況が数年前と比べて大幅に改善されて追い風。訓練する側としては「働き続けていく意欲」を育てる取り組みを重点的にする必要がある。

校長： 自立活動などで、本人の課題に向き合いながら、自分の困り感を周囲にしっかりと伝える取り組みを継続しているが、結果が出るまでには時間がかかります。

●： 現在の重点は「就労支援」は「定着支援」にシフトしている。たまがわでもしっかりと取り組んでほしい。

生徒指導について、LINE のトラブルは大変。大人が気付かないうちに起きており、気付いた時には深刻になっている。

○： 本校では深刻化は止まっている気がします。家庭との協力により管理ができていくケースも多く、情報モラルの学習の浸透や、保護者と一緒に研修会も行っていることがいい方向にいつているのではと思う。

●： 保護者を交えた研修会は良い。

●： 会社でもトラブルはある。社会に出てからも同じで、在学中に継続的に学習をしてもらえると助かる。

校長： 本校では例年1年生でのトラブルが多い。交友関係、行動範囲が広がり生活空間の広がる中で、いろいろな個性がぶつかる。当然トラブルが起きますが、2・3年生になって少しずつ落ち着いてくる。粘り強く指導していくことが大切だと考えています。

●： 部活動の豊富なメニューが良い。

●： 在学中頑張っても、卒業後に活躍できる場が無い。もっと広がればよいと思う。

●： 卒業後のチームはどうなっているのか？クラブチームなどは？

●： 東京はクラブチームへの補助があると聞いている。大阪には無い。

●： 本社でも陸上で世界大会に出場する社員がいたが、遠征費は自己負担。厳しい。

校長： 本校の学校目標にある「潤いのある社会生活」という部分が、まさに余暇や部活動の充実であると考えています。

●： 美術部の活動でパソコンの使用は？パソコンを使った技法があるので是非活用してほしい。パソコンの才能に長けた人がいることもある。

●： 企業も採用を始めている。

●： 新しい取り組みで茶道部はどうか？部活動はいじめの防止にもいいのではと思う。

●： もっともっと充実した取り組みになるようにしていただきたい。

[IV] 閉会挨拶

校長： 本日は長時間ありがとうございました。部活動についてPR不足のところはありますが、非常によくがんばっている。教員もICTの効率化であまったエネルギーを部活動等に向けてほしい。

3月までに取り組みたいこととして、保護者の一斉連絡網として「安心・安全メール」の整備をしたいと考えています。

3000

[V] 諸連絡

教頭： 次回は3月の中旬を予定しております。また、日程を調整させていただきますのでよろしくお願いたします。本日はありがとうございました。